れんごう鳥取

JTUC
2026年11月1日
No.11
二次元コードで
HPへGo!!

発　行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:北 畑 仁 史　編集人:谷口龍太郎
住　所:〒680-0847　鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ:https://jtuc-tottori.jp

「働くことを軸とする安心社会の実現」をめざして

―鳥取県に対する「２０２７年度政策・制度要求」　部局との部局交渉を実施―

連合鳥取は、8月4日(火)、「2027年度政策・制度要求」を平井伸治知事に提出し、10月16日(金)、21日(水)、23日(金)の3日間にわたり、要請項目ごとに北畑仁史会長をはじめとする連合鳥取役員、関係構成組織と県関係部局で交渉を行いました。

部局交渉では、各部局長から要請に対する鳥取県での取り組み状況や考え方について説明を受けた後、労働者・生活者の立場から意見・提言を行いました。また、それぞれの部局との意見交換を通じて、今後も連携を図りながら課題解決に取り組んでいくことを確認しました。

月 日	主な内容	連合鳥取出席者（敬称略）	鳥取県／主な部局
10月 16日(金)	●経済・産業政策、雇用政策、地域活性化への支援強化 ●生活困窮者自立支援、子どもの貧困対策、生活保護運営の改善・充実 ●介護サービス課題、介護人材の処遇改善・専門性の向上 ●子ども・子育て支援新制度、子ども育成の環境整備と人権擁護 ●外国人労働者対策と地域住民との共生 ●ＧＸの「公正な移行」の実現と気候変動への適応 ●差別禁止・人権擁護政策の推進　●持続的な食料システムの実現 ●公契約条例の制定による公契約の適正化　●獣被害への対応 ●医療体制の確立　●消費者保護、消費行動の推進 ●中小企業対策　●差別禁止と人権擁護政策の推進　他	【日教組】　細砂　直 中松　輝嘉 【自治労】　三浦　敏樹 【全国農団労】　里田　斉昭 【交運労協】　亀山　泰孝 【UAゼンセン】　淺山　里奈 北畑仁史会長他専従役員	人口戦略推進本部 福祉保健部 子ども家庭部 生活環境部 県土整備部 会計管理部 農林水産部 商工労働部
21日(水)	●ＩＣエリア拡大と公共交通の更なる利用促進 ●公共交通の利便性向上 ●持続可能な交通・運輸体系の確立 ●外国人労働者対策と地域住民との共生 ●経済・産業政策、雇用政策、地域活性化への支援強化 ●私立高等学校の振興と教育環境の整備 ●教育の機会均等の保障と学校の働き方改革を通じた質の向上　他	【交運労協】　亀山　泰孝 【自治労】　吉田　孝博 矢田貝辰也 【電機連合】　高間　史憲 【日教組】　細砂　直 中松　輝嘉 北畑仁史会長他専従役員	輝く鳥取創造本部 総務部 教育委員会事務局
23日(金)	●総合的な防災・減災対策の充実 ●支え合い・活気あるデジタル社会の構築と地方分権改革の推進　他	北畑仁史会長他専従役員	令和の改新戦略本部 危機管理部

部局交渉の様子

10月16日(金)





10月21日(水)





10月23日(金)






✨働き方を見直してみませんか✨　―11月は「過労死等防止啓発月間」―

東部・中部・西部地協発

熊本地震街頭カンパ活動&最賃改定周知街宣を実施

7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方を震源とする大地震が発生し、各地で甚大な被害が生じました。これを受けて、東部・中部・西部地域協議会では地協役員の協力のもと、街頭カンパ活動を実施しました。

街頭活動で集まったカンパ金に加え、連合鳥取杯親睦ゴルフ大会チャリティー金および鳥取退職者連合「第34回定期総会」でお寄せいただいたカンパ金を合わせた221,672円を、連合を通じて被災県への義援金として送金しました。

東部地協





10月10日(土)／JR鳥取駅周辺
※連合鳥取推薦議員5人も参加

中部地協





10月7日(水)／新あじそうパープル店

西部地協





10月1日(木)／JR米子駅前

また、街頭カンパ活動とあわせて、**「鳥取県最低賃金1,090円に改定(10月３日発効)」**を周知するポケットティッシュを配布しました。

東部地協発

“アンコンシャス・バイアス”について考える
―「労組対象研修会」を開催―



10月27日(火)、東部地協「労組対象研修会」をさざんか会館(鳥取市)で開催し、推薦議員を含め60人が参加しました。

はじめに、主催者を代表して大橋良輔議長があいさつを行い、続いて、次期鳥取市議会議員選挙への立候補予定者である、「勝田せんじ」さん、「坂根まさよ」さん、「石田さゆり」さん、「村尾まさひこ」さんの順であいさつをいただきました。

研修会では、ＤＶＤ上映「『ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見』～職場のコミュニケーション向上のヒント～」を視聴し、アンコンシャス・バイアスについて学習しました。

学習内容は、①ステレオタイプ「気づきを共有する」、②経験則によるバイアス「価値観を確かめ合う」、③能力の決めつけ「客観的な視点を意識する」の3つのテーマについて、短編ドラマを通じて学びました。参加者はそれぞれの場面に潜む無意識の偏見について考え、自身の言動や、職場でのコミュニケーションを見つめ直す機会となりました。



写真左から／勝田せんじさん
坂根まさよさん
石田さゆりさん
村尾まさひこさん











気づこう、アンコンシャス・バイアス～真の多様性ある職場を～

連合は、性別や年齢、出身の国や地域、障がいの有無、就労形態、性自認、性的指向などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、お互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざしています。

青年委員会発

「列島クリーンキャンペーン」鳥取砂丘ボランティア除草を実施

10月24日（土）、青年委員会は鳥取砂丘の除草作業を33人参加のもと実施しました。

当日は小雨の降るあいにくの天候となりましたが、組合員だけでなくお子さんも参加し、みんなで協力しながら除草作業に取り組みました。

今回の活動は、鳥取の貴重な自然環境を守るための地域貢献活動として実施したもので、参加者一人ひとりが環境保全の大切さを感じる機会となりました。天候が優れない中ではありましたが、参加者が力を合わせて作業を進めることができました。

今後も、こうした地域貢献活動を通じて、組合として地域社会に貢献できる取り組みを継続していきます。

（寄稿　青年委員会副委員長　廣政大地さん）







鳥取退職者連合発

「第34回定期総会」開催 ～新役員体制で2027年度活動スタート～

10月1日（木）、鳥取退職者連合は国民宿舎水明荘（湯梨浜町）において「第34回定期総会」を開催し、2026年度活動総括と会計決算・会計監査報告ならびに2027年度活動方針・予算と新年度役員を決定しました。

総会では、中島ちから副会長が司会をつとめ、川上慎治代議員（鳥取退職教職員協議会）を議長に選出し、宮本秀美副会長があいさつを行いました。続いて、ご多忙の中、ご出席いただいた5人の来賓のみなさまから激励のあいさつをいただきました。また、総会に2通の激励メッセージが寄せられ、川上議長が代読し披露しました。

その後、経過報告、議事へと進み、3人の代議員からの質問・意見が出され、活発な議論を経て、すべての議案ならびに新役員体制が満場一致で承認されました。

定期総会終了後、参加者全員が参加して昼食懇親会を開催しました。短い時間ではありましたが、旧交を温めることができました。

【令和8年熊本地震特別（緊急）カンパ】

7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により 被災されたみなさまに向けて連合が実施しているカンパ活動を呼びかけ、定期総会会場にカンパ箱を設置したところ、5,730円のあたたかい浄財をいただきました。

《出席人数》
- 代議員　23人／定数28人
- 執行部　10人／定数17人
- 事務局　2人

《2027年度役員》

会　長	中島ちから（西部地区協／自治退）	
副会長	田中　照幸（東部地区協／NTT労組）	
〃	宮本　秀美（中部地医協／ＪＲ西労組）	
事務局長	西村　一秋（Ｊ Ｐ労組）	
幹　事	• 各溝成組織から1人ずつ • 各地区協事務局長	11人
会計監査	2人	
顧　問	山田　敏明（NTT労組）	



中島ちから(新)会長



2027年度役員



鳥取市議会議員選挙【11月15日(日) 告示、11月22日(日) 投票】

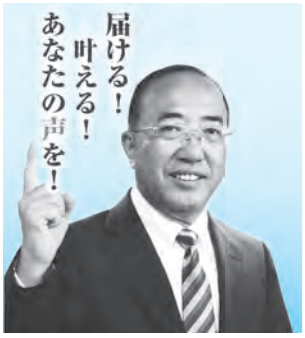
鳥取市議会議員選挙 連合鳥取推薦予定候補者



村尾昌彦（むらおまさひこ）
（交通労連 国民民主党）



石田小百合（いしださゆり）
（自治労 全水道）



勝田鮮二（かつたせんじ）
（立憲民主党）



坂根政代（さかねまさよ）
（部落解放同盟）

“ザ・議員”

興治 英夫（おきはるひでお） 鳥取県議会議員

9月県議会の私の質問について報告します。

■賃上げに向けた適切な価格転嫁の実現について

調査によれば、鳥取県内事業所の価格転嫁率が37%台です。歴史的な物価高に直面している中、原材料費、エネルギー価格、賃上げ分を、適切に価格転嫁することが求められています。国も「独占禁止法」や「取適法」に基づいて取引の実態を把握し、不当な価格据え置き等に対し、勧告、公表、是正しようとしています。

鳥取県として、県内の業種や企業ごとの個別の事情を調査、把握し、業種ごとの商慣習や取引実態に合った指導・支援をするとともに、国との情報連携を通じて、価格転嫁の実効性の高い取り組みをすること、また中小企業間の取引においても「取適法」に基づく指導対象を増やせるよう、対象企業の資本金や従業員数の要件を見直すことを、国に要望することも知事に求めました。

県内では価格交渉をしていない事業所の割合が全国平均より高いので、県として、①交渉のテーブルに着くよう後押ししていくこと、②業種ごとの対策をとること、③「独占禁止法」の申告制度、「取適法」の情報提供制度を活用しながら、企業に申告してもらえる環境を説明していくこと、④「取適法」の要件の見直しについては、中小企業同士の取引に注目しながら、問題があれば国に要請する、という答弁でした。


令和8年9月県議会一般質問の様子

総じて、県内での価格転嫁について、県の取り組みが強化される実感を得ました。

当日は「ＪＡＭ山陰」の役員のみなさんが傍聴においでいただきました。ありがとうございました。！

柊 康弘（ひいらぎやすひろ） 境港市議会議員

境港市は国際定期便が就航する「米子鬼太郎空港」重要港湾「境港（さかいこう）」特定第三種漁港「境漁港」の三つの港を有するとよく表現されますが、沿岸漁業基地である「中野港」もあります。

この中野港では、漁師がその日の朝に水揚げした鮮魚を直接販売する「さかいみなと中野港漁村市」が、年間3回程度開催されています。

私は毎回ボランティアスタッフとして参加しており、9月12日（土）に開催された「漁村市」では、漁協の組合長が提供されたとれたてのイワシを来場者に振る舞うミッションを仰せつかりました。


「さかいみなと中野港漁村市」にて一番右が柊議員（2026.9.12）

鮮魚の販売だけではなく、振る舞いサービスや様々な出店テントも並び、大いに賑わいました。

てんじんこらむ

酷暑・猛暑であった夏が終わり、過ごしやすい秋を迎えた。食欲・スポーツの秋といわれるこの季節だが、私は学生時代に陸上競技に打ち込んでいたこともあり、この季節になると駅伝やマラソンなどのロードレースシーズンの到来を感じる▼陸上競技は個人競技のイメージが強いが、実際には家族や仲間、指導者など多くの支えがあって成り立っている▼その象徴が駅伝だと思う。選手一人ひとりが自らの役割を果たし、仲間を信じて襷をつなぐ。苦しい場面でもチームのために力を尽くし、支え合いながらゴールをめざす姿には大きな感動がある▼私は、この駅伝の姿は労働組合の活動にも通じると感じている。組合活動には目立たない取り組みも多いが、仲間の声に耳を傾け、支え合い、つながりを広げることで大きな力となる。一人ではできないことも、仲間と力を合わせれば実現できる。これからも、襷をつなぐ気持ちを持ち、より良い労働組合づくりに取り組んでいきたい。

（M・K）



紙
再生紙を使用しています